

Idea 12



語呂がよく  
感性に訴える  
魔法の言葉を  
散りばめる



\\ 解説 //



記憶に残るフレーズを創る

記憶に残るネーミングやキャッチフレーズはどのようにすれば創れるのでしょうか。その方法の一つとして、口ずさみながら創るとよいと言われています。語呂がよく、リズムに乗ることが重要だからです。

お客様の記憶に残るような“魔法の言葉”を必要に応じて散りばめていくのです。

\\ 事例 //



フレーズには魅力を伝える  
“魔法の言葉”を必ず入れよう!

フレーズの中には訴えたい“決め言葉”を必ず入れます。その決め言葉に形容詞を使うと、見たり聞いたりした人の「感性」を刺激するキャッチフレーズになり、そこに名詞を使うと「理性」に訴えかけるキャッチフレーズになります。

<形容詞→感性を刺激する> 美しい・大きい

例：吉野家のキャッチコピー「うまい、やすい、はやい」

<名詞→理性に訴えかける> 安全・安心・信頼

例：交通安全標語「注意一秒、ケガ一生」

訴えたい商品の魅力や訴えるべきターゲットを明確にして「形容詞・名詞」→「ひらがな・カタカナ・漢字」→「リズム・語呂」とフレーズを考えていく手順がよいでしょう。